

白山 平成 17 年（2005 年）年報

○平成 17 年の概況

一時的な地震増加が繰り返されましたが、山頂部に噴気は認められず火山活動は静穏に経過しました。

○火山情報

火山情報の発表はありませんでした。

○地震の発生状況

10月3日13時59分、白山山頂の西側約2km付近の浅いところを震源とするM（マグニチュード）4.5の地震が発生し、白山市白峰で震度2を観測しました。その後、この地震の余震と見られるM2未満の規模の小さな地震が14時台に14回発生しましたが、それ以降、地震活動はおさまりました。白山付近では、2005年に入ってから2月、4月及び8月にも一時的な地震増加がありました。M4を超える規模の地震が発生したのは1993年5月8日のM4.3以来でした。

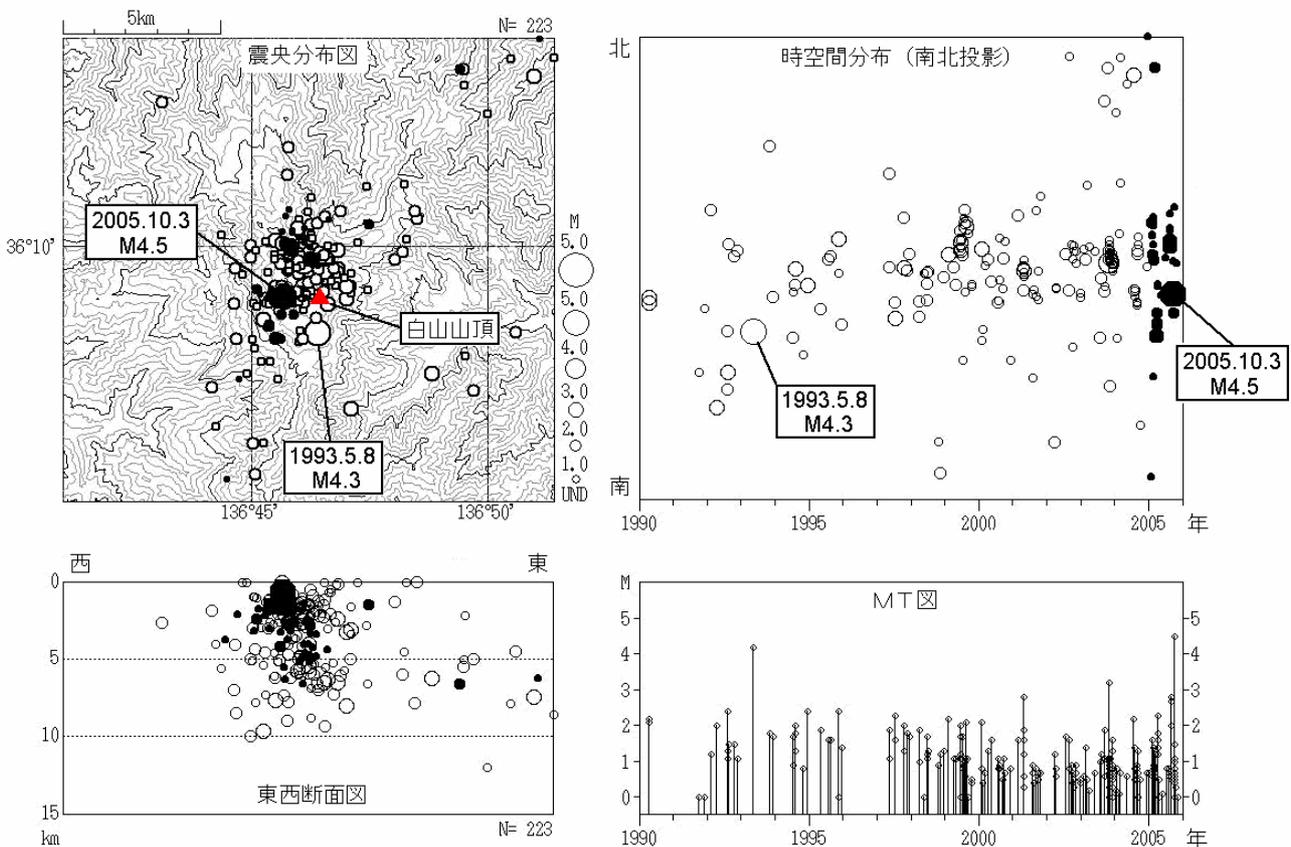


図 1※ 白山 震源分布図（1990 年 1 月～2005 年 12 月、広域地震観測網により決定）

●は 2005 年の震源、○はそれ以前の震源を示す。

注) 1997 年 10 月から、気象庁のほか、大学等の研究機関による地震波形データを一元的に収集して波形処理が行われることとなり、震源決定能力が格段に向上しました。

※この資料は気象庁のほか、国土交通省金沢河川国道事務所、京都大学、名古屋大学及び独立行政法人防災科学技術研究所のデータ等も利用して作成しています。

○噴煙の状況

国土交通省金沢河川国道事務所によると、10月3日の一時的な地震増加の際には、山頂部に噴気は認められず、山麓の地熱地帯でも特に異常は認められませんでした。

○地震観測点の設置

白山の火山活動を調査する目的で、国土交通省金沢河川国道事務所の協力を得て、山頂から南西側約1.2kmの地点（弥陀ヶ原）に地震計を設置し、2005年10月18日から気象庁地震火山部火山監視・情報センターに波形データの伝送を開始しました。

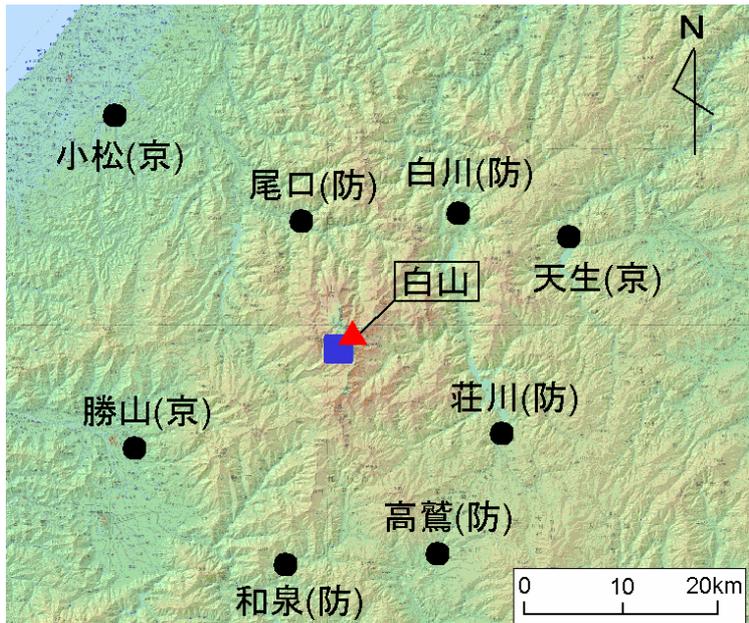


図2 白山周辺の地震観測点配置
 青四角：今回気象庁が新設した地震観測点
 黒丸：関係機関による既存の地震観測点
 (京)は京都大学、(防)は独立行政法人防災科学技術研究所の観測点を示す。

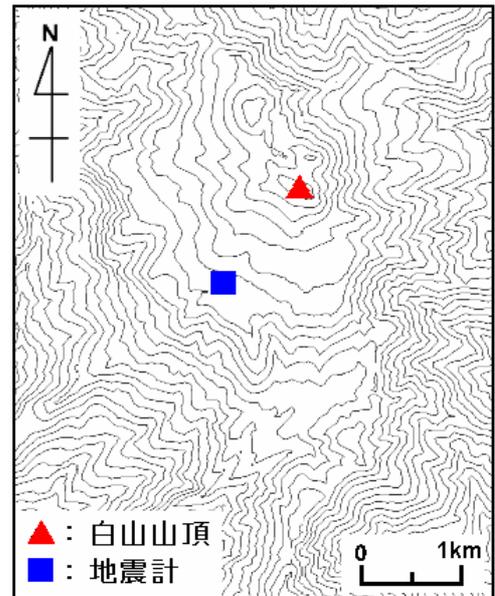


図3 白山の気象庁地震観測点配置

表1 白山 気象庁観測点一覧表

測器種類	地点名	位置			設置高(m)	観測開始日	備考
		緯度	経度	標高(m)			
地震計	弥陀ヶ原	36° 8.8'	136° 45.9'	2345	0	2005.12.1	短周期 3成分